

(農)サンファーム法養寺だより

農事組合法人サンファーム法
養寺平成27年4月1日

法人発足10周年を迎えました

平成17年5月に法人化して今年で丸10年が経過しようとしています。もともと「法養寺の田は法養寺で守る」として法養寺営農組合を発足させたのが平成4年でした。時代の流れとともに「担い手になるには法人化」だとして、県内でも比較的早期に法人に移行することができました。

法人になって、水田の全面受託を引き受けるようにしたので、我が家の田が維持できない家の田を預かることになりました。また、精米機一式を導入して「白米」販売にも取り組み米の有利販売につなげることができました。さらに、ビニールハウスを建設してトマトやイチジクの栽培を始め、消費者の皆さんから好評を得ています。

法人となって他には見られない斬新な取り組みをしていると自負していますが一方で「法養寺の皆さんに内容を十分お知らせできていなかった」という反省のもと、このたび毎月「たより」を発行することとしました。ぜひサンファーム法養寺をご理解いただきますようお願いいたします。



山本志穂さん(20)が就職

法養寺在住の山本志穂さんがサンファーム法養寺に新入社員として就職することになりました。志穂さんは八日市南高校で農業を学んだ後、さらに実践的な農業を学ぶため、安土町大中にある滋賀県立農業大学校(農大)で2年間、勉強してきました。

農大では主に果樹を専攻して実習に励みましたが、在学中愛東町で3ヶ月の農家派遣研修でブドウ栽培に取り組んだことから、ブドウに大変興味を持っています。サンファーム法養寺では、志穂さんが将来ブドウの専業農家となるよう支援していきたいと考えています。

4月から2年間は、国から「農の雇用」事業の助成を受けて、サンファーム法養寺の従業員として農業の実務研修を受けることとなります。さらにその後も国の就業支援の助成を受けて農業で自立できるように誘導していく予定です。

ともすれば高齢者主体で維持されている農業の現場に、若い女性が飛び込んできてくれたことに大きな驚きを感じていますが、一方で法養寺農業の未来を感じさせ、活性化してくれるものだとたいへん期待しています。皆さんも志穂さんを見つけたら励ましの言葉をかけてくださいますようお願いいたします。



法養寺の米が

国際線ファーストクラスの機内食に?

サンファーム法養寺では「みどり豊」という米を栽培しています。この品種はコシヒカリから選抜されたもので、米粒がしっかりとついて粘りがあり冷めてもおいしいう特徴があります。

5年前から栽培を初めて法養寺の皆さんにも徐々になじみになってきたので、今ではみどり豊を指名したいく人も増えてきています。

昨年国際線ファーストクラスの機内食に出すことはできないかとの打診を受けました。毎年、米・食味鑑定士協会のコンクールに出品していますが、みどり豊の食味値が高いことから注目を浴びたようです。ただし正式決定はまだ先のようなので、

もし正式に採用が決まれば甲良米が高く評価されたこととなり、大きな自信を持って米販売に取り組みると大変期待しています。

ハウスでトマトの定植をしました

3月19日、トマトの定植をしました。品種は大玉「麗夏」600本とミニトマト「アイコ」600本です。麗夏は真っ赤でやや固めなので切っても崩れにくくサンドイッチに向いています。味は甘くて大変おいしいと大好評です。アイコはミニトマトの中でも代表的なものですが、味は抜群です。

収穫は5月末を予定していて、主な出荷先は、甲良町内の他の営農組織と協同で名古屋のナフコチェーン「不二屋」という大手スーパーがメインですが、せせらぎのさと甲良にも出荷します。

集落営農組織が施設園芸に取り組むのはまだ少ない方で、いわば先進的な事業展開をしているのだと思います。定年退職してもまだ若い、余暇を有効に活用したいという希望をかなえてくれます。

収穫時期になりましたら規格外品を格安でお分けしたいと思っています

